

港区立中之町幼稚園 3月園だより

教育目標



- げんきな子
- かんがえる子
- なかよくする子
- かんばん子



令和 4年 2月 28日

港区立中之町幼稚園

園長 大橋 美都子

<http://nakanochō-kgminato-ty.ed.jp/>

1年間の成長

園長 大橋 美都子

園庭のアンズやハナモモのつぼみも膨らみ始め、陽射しの暖かさに少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。令和3年度も残すところ、あと1か月。宇宙組は、13回の登園で修了式を迎えます。

2月は、「わくわくこどもかい」が3学年とも予定通り開催でき、多くの保護者の皆様に子どもたちの生の姿を見ていただけたことを本当にうれしく思います。子どもたちは、終わったあとと違う役で劇遊びをしたり、他学級の劇を見て覚えた歌やフレーズを遊びに取り入れたりしていました。宇宙組の衣装を着させてもらったり、一緒に劇に参加させてもらったりした子もいます。また、園庭で他学年に出会うと「**のお兄さんだ」「**をやったお姉さん」などと劇の役名で声を掛ける姿も見られます。1年間、成長してきた今の時期だからこそ見られる姿ですね。

太陽組は、この1年で自分の身の回りのことがたくさんできるようになりました。登園時になかなかおうちの人と離れられなかった姿が懐かしいくらい、今では振り返りもせず保育室に向かいます。園庭に出てくるときも、意気揚々と目的をもって走っていきます。地球組は、どれだけ友達と思いをぶつけ合ったことでしょうか。自分の思いがある中、友達の考えを受け入れることは難しいことです。でも、意地を張って遊べないことは分かっています。言葉で伝えることや、相手のことも考えることを学んだ1年でした。宇宙組は、本当に体も心も強く、大きく、たくましくなりました。諦めないで頑張る挑戦すること、自分で考えること、友達と相談したり力を合わせたりすること、みんなで気持ちを合わせるなどたくさんを経験し、一人ひとり自信をもって生活できるようになりました。各学年の子どもたち一人ひとりの成長を大変うれしく思います。

コロナ禍の生活が2年も続き、今年度の教育活動においても様々な制限を余儀なくされましたが、保護者の皆様、地域の皆様に多大なるご理解、ご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



個性豊かなおひなさまが並んでいます。



アンズももうすぐ咲きそうです。



新園舎の門から玄関までの工事が始まりました。